



こうじまさかず

小路正和 県議会レポート

“ふるさとちば”
のための政策推進を



発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411



自席から発言を求めて挙手する小路県議

いすみ市に對し事業化の検討が必要となる資料提供を行ったところ。今後、こうした資料を基に、いすみ市が具体的な検討を行うことになり、検討作業が円滑に進むよう、県としても積極的に支援していきたいと考えています。

小路議員
現在、いすみ市では、圏央道茂原長南インターチェンジから南総広域農道を経由して約20分の場所に位置する「須賀谷地先」において、市が所有する未利用地を工業団地として活用できないか、検討を進めています、そこで伺います。
いすみ市が所有する須賀谷地先の未利用地を工業団地として整備するため、県は積極的に支援を行うべきと思うがどうか。

商工労働部長
いすみ市において、工業団地整備の検討が進められている須賀谷地先の未利用地は、市が所有する約45ヘクタールの一団の土地ですが、現況が山林であり、多額の造成コストが課題として考えられます。
産業用地の確保を検討するに当たっては、事業採算性の確認が大変重要と考えているところであり、県ではこれまでの工業団地を整備した知見やノウハウを活かして、現在、

2月県議会一般質問に登壇

いすみ市選出の自民党、小路正和（こうじ・まさかず）県議は、2月定例県議会の本会議場での一般質問に登壇し、いすみ市が計画している同市内への工業団地整備について、県の積極的な支援を要請しました。小路県議は「地域には若者の働く場所が少なく、人口流出に歯止めがかからない。これが過疎化の大きな要因」と訴え、働く場の創出につながる工業団地整備への森田知事の前向きな対応を要望しました。漁業者の所得向上のための施策、沿岸部の津波対策、地域振興に欠かせない道路網整備など、市民生活の立場に立つ小路県議の質疑を特集しました。

産業振興へ

工業団地整備に向け 支援要請！！

須賀谷地先の市有地を検討

《要望》
いすみ市において、来年度、産業用地の確保に向けた検討を進めるため、企画政策課内に新たに、産業立地班を設置するなど、具体的に動き出しています。
先ほどの答弁によれば、まずは市が実施する基礎的な調査について、県が協力していくという趣旨だと思えますが、今後、工業団地整備の検討が、より具体化する際には、引き続き県の前向きな支援をお願いしたいと思えます。知事もぜひ過疎化対策として、特段の前のめりな応援をお願いしたいと思います。

夷隅地域の漁業振興

小路議員

夷隅地域の漁業を、将来に向けて次代を担う後継者が参入したくなるような魅力ある産業にするためには、水産資源の維持増大や水揚げ物の付加価値向上などにより、漁業者の所得向上を図ることが重要だと考えます。漁業者の所得向上に向けて、漁業振興にどのような取り組みをしているのか。

農林水産部長

県では、漁業者や地元市町村とともに、漁獲量を増やすためのマダイ・アワビなどの種苗放流やキンメダイなどの資源管理、県産水産物の需要を拡大するためのブランド化や販売促進に取り組んでいます。
夷隅地域では、近年漁獲量が増えているサワラのブランド化の取り組みや、販売促進の拠点となる漁協直売所の整備、千葉ブランド水産物の「外房イセエビ」や「太東・大原産真蛸」のPRなどを支援しており、引き続き漁業振興に向けた取り組みを進めてまいります。

ポイント

水産物ブランド化、商品開発、販路開拓、直販通販、いさばやの営業企画、じあじあ等の製造販売を推進し、漁業者の所得向上につながるプロデュースが必要である。

大原高校と地域連携

小路議員

大原高校が取り組んでいる、地域と連携を深める教育活動を踏まえながら、更なる発展に向けた学校づくりを進めるべきと思うがどうか。

澤川教育長

県立大原高校は、「地域とともに、地域の発展に貢献できる人材育成」を教育理念に掲げ、例えば、ヒラメの稚魚の放流を地元漁協や小学校と連携して行うなど、

ポイント

一般教養の授業に「調理」を取り入れたり、国の事業である『地域との協働による高等学校教育改革推進事業』を活用し「美食の街構想」など地方創生につなげるべき。

いすみ市と県政に関する
ご意見をお寄せください

小路正和 県議事務所 〒298-0004 千葉県いすみ市大原 8654

TEL 0470-62-5802 / FAX 0470-62-5902

いすみ地域の津波対策

「海岸づくり会議」で検討に着手

地域の特性を踏まえ

小路議員

県はこれまで、九十九里沿岸の復興事業の後には、他の海岸の津波対策も順次進めていく方針を打ち出しており、いすみ市域に暮らす住民が安全に安心して暮らせる住環境にするためにも、早急な津波対策を行うべきだと考えます。

そこで伺います。いすみ市域の津波対策について、今後の取り組みはどうか。

森田知事

県の「千葉県沿岸海岸保全基本計画」では、数十年から百数十年の頻度で襲来が予想される津波を考慮して、海岸保全施設の高さの目安を設定しており、いすみ市域には津波対策が必要な箇所があります。

津波対策の検討に当たっては、海岸ごとに地元市町村が主体で開催する「海岸づくり会議」を通じて、地域住民や関係団体の意見を聞いたうえで、ハード・

ソフトによる手法を決定することとしており、順次検討に着手しています。

県としては、津波対策の早期策定に向け、「海岸づくり会議」の開催を市に働きかけ、地域の意向や特性を踏まえて検討してまいります。

海岸道路と一体整備

小路議員

護岸の整備に際しては、サイクリング道路と一体的に整備すべきと思うがどうか。

森田知事

海岸整備に当たっては、防護の環境のほか海岸利用との調和など地域の特性に応じた、きめこまやかな魅力ある海岸づくりを行うこととしていきます。

いすみ地域の海岸線に隣接する県道九十九里一宮大原自転車道線は、かさ上げ等の改修予定もあることから、これも踏まえ、今後開催予定の「海岸づくり会議」を通じて検討してまいります。

外房線の利便性向上

小路議員

外房線の利便性向上について伺います。県は来月16日に実施予定のJR外房線のダイヤ改正について、どのように評価しているのか。また、外房線のさらなる利便性向上について、今後どのように取り組んでいくのか。

総合企画部長

外房線は、沿線住民の通勤通学

はもとより、房総方面への観光客の移動手段としての機能など、地域振興の観点からも重要な役割を担っていると考えています。

この度のJRのダイヤ改正で、外房線では夜間の下り勝浦方面への乗り継ぎ時間が短縮されるなど、一部改善が図られたところですが、一方で、早朝に東京、千葉方面に向かう快速電車の待ち時間において、依然として改



2月県議会の壇上に立つ小路議員

《要望》

海岸整備についてですが、早急に津波対策を進めていただきたいと思えます。津波対策の実施に当たっては、画一的に進めるのではなく、サイクリングロードの整備、遊歩道の整備、排水、保安林、そしていすみ市には途中で頓挫している海岸道路もあります。

海岸道路と一体となって津波対策を進めることによって、防災、そして観光、環境につながっていくと思えます。ぜひとも、その「海岸づくり会議」を県としての主導も引き続きお願いしたい。

善すべき課題があると認識しています。

このため、県としては外房地域全体の発展が図られるよう、地元市町村と連携しながら、引き続きJRに対し外房線の利便性向上を働きかけてまいります。

《要望》

外房線快速の利便性について一宮以南への延伸と待ち時間や接続の改善を強く要望します。

地域高規格道路で房総一周を！

長生グリーンライン

小路議員

次に道路問題について伺います。長生グリーンライン事業の中区間の進捗状況はどうか。

県土整備部長

長生グリーンラインは、圏央道の整備効果を外房地域に広く波及させるうえで、大変重要な道路であり、現在、茂原長南インターチェンジから広域農道までの6・5キロの整備を進めています。

このうち、茂原長南インターチェンジ（IC）から長南町道利根里線までの1・5キロについては、平成31年度の供用を目指し、切土工事や地盤改良工事などを進めています。

これに続く県道茂原大多喜線までの2・5キロについては、用地取得を進めるとともに、函渠工事などを実施しており、平成35年度までの供用を目指しています。また、残る2・5キロは用地取得を進めているところです。

《要望》

現在、開通目標が県道茂原大多喜線までであり、早期に広域農道までつなげていただくことが重要だと思えます。さらに先の一宮町、いすみ市までの区間が、茂原・一宮・大原道路であり、この先に鴨川・大原道路があり、その先に鴨川・館山道路があります。

これを一周してつなげるのが、外房・南房総の活

性化につながり、知事がいつも言っている均衡ある発展につながると思えますので、広域農道まで少しでも早くお願いして、最終的には地域高規格道路の房総一周というのを具体化していただきたいと思います。

鶴舞へのアクセス

小路議員

夷隅地域から圏央道へアクセスするルートは、国道465号や297号は、幅員が狭く屈曲した箇所も残っており、大型車の通行に支障となるなど、住民の日常生活にも影響が及んでいます。いすみ市から圏央道市原鶴舞インターチェンジへのアクセス道路の取り組み状況はどうか。

県土整備部長

同アクセス道路は、国道465号から国道297号を経由するルートが最短であり、利便性の向上を図るため、2つの区間でバイパス整備を進めています。

このうち、国道465号のいすみ市佐室から増田までの苜谷新田野バイパスについては、必要となる用地の一部を圃場整備に合わせて確保しています。

また、国道297号の大多喜町横山から市原市米原までの横山バイパスでは、これまでに約6割の用地を取得し、起終点側の一部区間を供用しており、今年度は残る用地の取得に向けた調査などを行っています。

《要望》

国道465号苜谷新田野バイパスは、長生グリーンライン、広域農道、新田野側がつながること、いすみ市の玄関口になるので、新田野側の整備を急いでいただきたい。国道297号横山バイパスは、夷隅、勝浦、鴨川に至るまでに、大多喜の「七曲がり」が非常にネックになっているので、早期整備を要望します。

江場土交差点改良

小路議員

国道128号いすみ市岬町江場土交差点改良の進捗状況はどうか。

県土整備部長

江場土交差点は、国道に県道と市道が食い違いで接続する交差点で、右折レーンがないことから渋滞が発生しています。県では平成28年度から交差点改良に着手しており、これまでに測量や設計などを行い、今年度は用地取得に向けた物件調査を実施しているところです。

《要望》

江場土交差点改良はぜひ進めていただきたい。128号ではそのほかにも、岬町の三門、和泉、大原新田（しんでん）など、まだまだ交差点改良が必要だと思えます。128号だけでなく、国道465号には山田という変則な交差点があり、土木事務所が改良を進めています。引き続き早期に着手、完成するよう要望します。